

4月の園だより



2023.4.4 発行
社会福祉法人 楡の会
児童発達支援センター
きらめきの里



仲間と居場所



令和 5 年度が始まりましたね。はじめましてのみなさん、そして、続けて通ってきてくれるみなさん、今年もよろしくお祈いします。

きらめきの里は、母子通園を基本としています。これは楡の会の開設当時から 30 年間ずっと続けています。なぜかという、こどもの育ちとともに、親も育つ場所が必要だと考えているからです。それは 30 年分の経験からも、これからも大事にしていきたいと思ひます。特に、今の時代の子育ては、様々な情報と、子育てに関する商業的なサービスがたくさんあります。それらのほとんどは親に向けたもので、本当にこどもが成長して大人になるところまでを考えているものではないと感じます。今は小さな子どもでも、やがて大人になります。そして親は年を取っていくのは自然の摂理、逆らうことは誰もできません。親がわが子の特性をわかって、その個性にあった関わりをしていくのは簡単そうに見えてなかなか大変です。なぜなら親にも個性があるから。その個性と個性の組み合わせは他に変えようがない唯一無二の関係です。だから、ほかの人の経験や、思ひを知って「自分はどうかな？」と改めて自分の気持ちや、考え方が見えてくるのです。子育ての試行錯誤には一人ではない方がうまういきます。きらめきの里は、同じ立場の仲間がいるところ。そして、そこは「誰一人孤独にしない」という信念で関わる職員たちのいる場所です。この 3 年間、コロナ禍の中の出産・子育ては、不安と緊張の毎日だったことでしょう。そんな気持ちも吐き出しながら、わが子の泣いたり笑ったりを「宝物の時間」と思ひて精一杯つきあってあげてくださいね。きらめきの里だけでなく、先輩ママたちの力も借りながら、楡の会全体で、皆さんをしっかりと支え、応援していきますよ！

かとう のりこ

